

特集：卵胞発育の新知見－基礎から臨床応用まで

JMORは本号より新しく生まれ変わり、日本語を主体とした構成となります。読者の皆様に最新の知識を分かりやすく解説する総説や、日々の研究、臨床のヒントになるような原著論文、様々な解説（今更聞けないIVFラボの工夫、診療のコツ、実験手技）などを届けて参ります。特に日本卵子学会の会員には多くの胚培養士の方々がいらっしゃいますので、JMORは少しでも多くの培養士の方々に読まれるような工夫と仕掛けを今後していく予定です。本号は第1弾として、両編集委員長の研究室で行われている共通する研究テーマを題材に、基礎から臨床応用に至る研究を紹介します。また、2018年の卵子学会で話題となった精巣組織培養の総説、日常臨床におけるIVFラボの課題に関する原著論文や興味深い症例報告などもあります。このJMORを日本卵子学会の会員の皆様の手で他に類をみない日本卵子学会の機関誌として育てて行ければと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

日本卵子学会編集委員会
河村和弘